



クリスティアワカサギ AIR

取扱説明書

この度は、「クリスティアワカサギ専用電動リール」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みいただけます。製品の特徴をよく理解した上でお使いください。取扱説明書が分りにくい場合は、発売元までお問い合わせください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要な時は再度ご確認ください。



グローブライト株式会社
〒203-8511 東京都久留米市前久3-14-16
お客様センター(無料) TEL: 0120-506-204
GLOBE-BLITZ MADE IN JAPAN

安全上のご注意

●本機は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店又はお客様センターにご相談ください。
●お使いになる人や他の人への危害及び財産への障害を未然に防止するため、取扱説明書や本体ラベルに表示された内容は必ずお守りください。取扱説明書及びラベルのマークの意味は次のようになっています。

△ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合及び騒音または物的損害が発生する頻度が高い場合を示します。

△ 注意

取り扱いを誤った場合、軽傷を負う危険性が想定される場合、並びに物的損害のみの発生が想定される場合を示します。

この表示は、決してしてはいけない「禁止」を示します。

この表示は、必ず実行していただく「強制」を示します。

お手入れの方法

・巻き糸やリール本体には、潤滑剤やコティング剤を使用しないでください。作動不良、樹脂の破損などの原因になります。
・各部分に付着したゴミ・砂・水分などは真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取り、スプール・モーターチューブを取り出し、十分乾燥させてください。シンナー・ペインティングなどの揮発性溶剤は絶対使用しないでください。変形や故障などの原因になります。
・スプールベーリングの注油は極少量にしてください。スプール自体に油がかかりますと回転不良の原因となります。スプールシールに油が付着した場合は、きれいに拭き取ってから交換してください。

オーバーホール

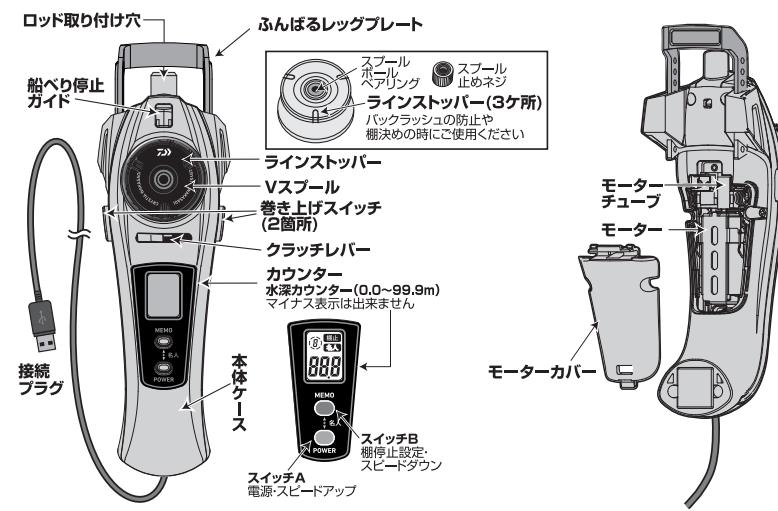
本リールを長くお使いいただくためにも、年に一度は弊社アフターサービス部門にオーバーホールに出されることをお勧めします。(有償)

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、弊社商品ホームページのFAQをご確認ください。

△ 警告		△ 注意	
電動リール本機について <ul style="list-style-type: none"> ● 電源は、推奨バッテリー以外を使用しないでください。 ○ 本機は淡水の止水状況でのわざぎ釣り専用リールです。河川やトローリングなど流水の中では使用しないでください。故障や事故の原因となります。 ● 分解・修理・改造などをしないでください。故障や火災・感電・けがなどの原因となります。 ● スプールを外した状態でモーターを回転させないでください。モーター・チューブの破損、スプール台の摩擦・発熱などから火傷・火災や故障の原因となります。 ● スプールを外した状態やスプール止めネジを緩めた状態で巻き上げスイッチを押し続けないでください。モーター・外部電源が発熱し、事故・火災や外部電源の故障などの原因となります。 ● モーター・外部電源が発熱し、事故・火災や外部電源の故障などの原因となります。 ● ① 使用中、根掛りや大きな魚が掛るなどの高負荷が生じた場合、ただちに使用を中止してください。発熱などから火傷・火災の原因となります。 ● リールに水が溜まると漏電、電解腐食の原因となり機械に影響を与えます。水が入った場合は速やかに外部電源から接続プラグを抜き、水を拭き取ってください。また、使用中使用端部に水が入っていないかを確認してください。 ● デジタルカウンター部は絶対開けないでください。故障の原因になります。故障の場合は、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。 ● 液晶部のレンズ内部に水滴の付着や墨り、割れ、クラックが見られた場合は、使用をやめて修理を受けてください。 ● マグネットの周囲、上に置かないでください。モーターの誤動作、カウンターが誤動作する原因になります。 ● 液晶画面に力を加えると、故障の原因となることがあります。液晶画面には力を加えないでください。 ● 液晶の表面は傷が付きやすいので、画面を拭くときは十分にご注意ください。 		電動リール本機について <ul style="list-style-type: none"> ● 釣り以外の目的で使用しないでください。 ○ 接続プラグを抜く際にコードを引っ張ったり、電源コードをリール本体にぐるぐる巻き付けてたりすると、断線の原因になりますので絶対におやめください。 ● 接続プラグは間違った方向で差しこみますと故障の原因になります。 ● 長時間使用するとモーターの熱が伝わり、本体全体がほんのり温かを感じことがありますが使用上問題はありません。 ● 屋外では使用しないでください。 ● 使用中に糸やスプールに触れないでください。けがや破損などの恐れがあります。 ● ひんぱるレッグを押したり、引っ張ったりすると本体から外れるなどの原因になります。絶対におやめください。 ● ラップチレバーを強い力で押し付けないでください。機能障害が割れてしまう恐れがあります。 ● 本スプールはMR/SR/CR/CP-Tシリーズに取付けてのご使用はできません。 ● オリジンの重さや使用頻度により、ガイドや素材に糸溝やひび割れが発生する場合があります。ご了承ください。 	
外部電源について <ul style="list-style-type: none"> ● アルカリ電池を推奨します。充電式(ニッケル水素)電池やマンガン電池を使用した場合、十分な性能を発揮できません。 ● 外部電源の電池が新しいにもかかわらず、スプールの回転が著しく低速であったりと回転しない場合は、ただちに使用を中止し、速やかに電源を切り外部電源から接続プラグを抜き、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。 ● 火中の投入、加熱、④と⑤間隔のショートをしてください。 ● モーターの液面が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明や目に障害を発生する恐れがあります。 ● 本体・電池共に、保管の際は子供や幼児の手の届かないところに保管してください。万が一電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。 		外部電源について <ul style="list-style-type: none"> ● 釣行後は、必ず本体から外部電源を取り出して保管してください。 ● 使えないとなった電池は速やかに外部電源から取り出してください。 ● 波瀬の原因になります。 ● 電池を保管・捨てる場合は、接点部分にテープを貼るなどの絶縁を行なってください。 	

各部の名称



● カウンターはあくまでも目安となります。穂先の巻き込みなどの破損に関しては一切責任を負いませんので、船べり停止機能を有効にお使いください。
※巻き上げボタンを使用してのクラッチON動作は電池残量が少なくなると、動作しなくなります。その際は新しい電池に交換してお使いください。
※電源オートOFF機能
電源ONの状態で、1時間カウンター・モーターの動きが無いと自動的に電源OFFとなります。その際は水深カウンターやモードセレクトされてますので注意ください。
※モーターモードについて
スプールの回転が止まっているのにモーターを動かそうとする1秒後にモーターが停止します。スプールを回転させる復帰します。
※糸の摩耗より静電気を発生し、極端に電子回路に影響が出る場合があります。その際は一度電源を切り、再度設定をしてください。
※スプール止めネジはMRシリーズ/SRシリーズ/CRシリーズ/CR-PTシリーズ/CRTシリーズに使用できません。



操作方法

1 電源の入れ方・切り方

- スイッチAを2秒以上押すと電源が入ります。
- 電源を切る際も、スイッチAを2秒以上押してください。(電源ONの状態で1時間放置しますと、電源が自動的に切れます。)

※推奨バッテリーはスイッチONに設定してください。

2 道糸の巻き方

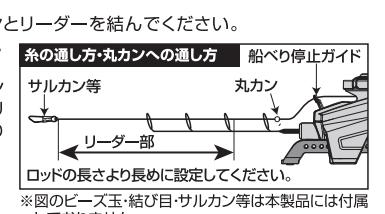
- スプールに糸を結び、スイッチAを押し電源を入れてください。
- 船べり停止ガイドに通さずに、巻き上げスイッチを押し均等になるように巻いてください。
- 道糸にはPEラインをご使用ください。
- 糸を握ったまま仕掛けを回収する際は左右どちらかの巻き上げスイッチを押してください。1秒以上押すと、連続巻きとなり、指をはなしても仕掛けを回収することが出来ます。

3 ラインの設定

- 出荷時にP.O.2号・30mは入力済みです。
- その他の号数・長さの場合、本取扱説明書裏面「機能設定クイックマニュアル」⑤ライン設定を参照し、設定してください。

4 ロッド(穂先)の取り付け方

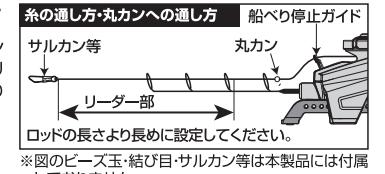
- リールのロッド(穂先)取り付け穴は、Φ5mmとなっています。
- ロッド取り付け穴に奥まで差し込み、しっかりと固定されていることを確認してください。(振動で緩むことがありますので、使用中は時々ご確認ください。)※強く差し込むと抜けなくなる可能性がありますので、ご注意ください。



5 糸の通し方・丸カンへの通し方

※糸の巻き過ぎによるロッドの破損を防ぐために、右図を参考に丸カンとリーダーを結んでください。

- ①スプールより道糸を引き出し、船べり停止ガイドに通してください。
- ②次に船べり停止ガイドを結んでください。糸の向こう側にリーダーを結んでください。巻き上げ時、丸カンを引き上げ船べり停止ガイドに当たるモーターの回転が止まります。リーダーの長さは丸カンから、サルカンなどまでの長さをロッドの長さより少し長めにセッティングすると巻き込み防止になります。
- ③丸カンは、ロッドのガイドをスムーズに通る物を使用してください。



6 糸の出し方・止め方

- クラッチレバーを右側に倒してください。スプールフリー状態になり、仕掛けを落とさることができます。
- リーダー部に到着したら、クラッチレバーを左側に倒すか、巻き上げスイッチを押すとスプールがロックされます。(巻き上げスイッチは、電池残量が少ないと動作しません。)

7 ラインストッパーの使い方

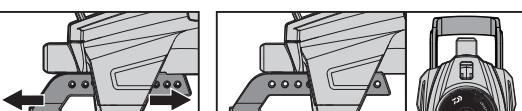
- スプールに3箇所付いているラインストッパーに糸を引っ掛けと、毎回同じ側で停止することができます。(外れやすい時は二重に引っ掛けください。)オリジンは重い目安7.5g以上、穂先が長いなどスプールへの負荷が大きい場合にはリールの構造上、強い誘いや合わせで糸がスプールから出てしまう場合があります。その際は糸止めを使用するか、スプールをサミングしながら誘いや合わせを行なってください。

8 電源OFFにした時の設定データ保存

- 一度電源を切ると巻き上げスピード以外はクリアされます。ただし設定条件はメモリーされており、再設定の必要はありません。

ふんばるレッグプレートのセッティング方法

ふんばるレッグプレートの金属製の支えは前後に移動することができます。リールの前方に移動させ、安定する位置でご使用ください。ご使用後は前方に移動する位置で出っ張りがなくなり携帯しやすくなります。



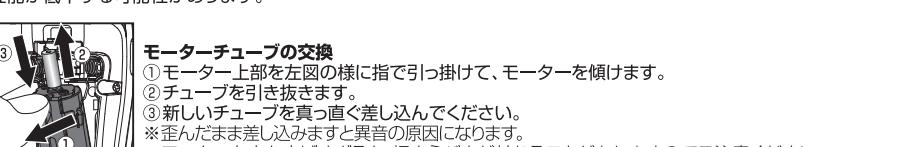
外部電源の電池残量が少なくなる時



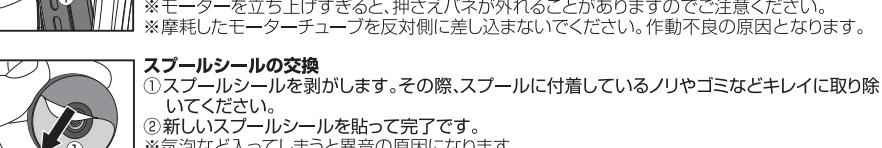
- 外部電源の電池残量が少くなる時に水深カウンターが点滅します。
- 外部電源の電池を交換してください。

モーターチューブ/スプールシール(別売)の交換方法

モーターチューブやスプールシールは消耗品であり、長期間のご使用により回転異音やスプールのスリップなど性能が低下する可能性があります。



- ① モーターチューブを左回しの様に指で引っ掛け、モーターを傾けます。
- ② チューブを引き抜きます。
- ③ 新しいチューブを真っ直ぐ差し込んでください。



- ① スプールシールを剥がします。その際、スプールに付着しているノリやゴミなどキレイに取り除いてください。
- ② 新しいスプールシールを貼って完了です。
- ※気泡など入ってしまうと異音の原因になります。

※リールの油や指の油がモーターチューブやスプールシールに付着しないようにしてください。

もし付着したらしっかり拭き取ってください。

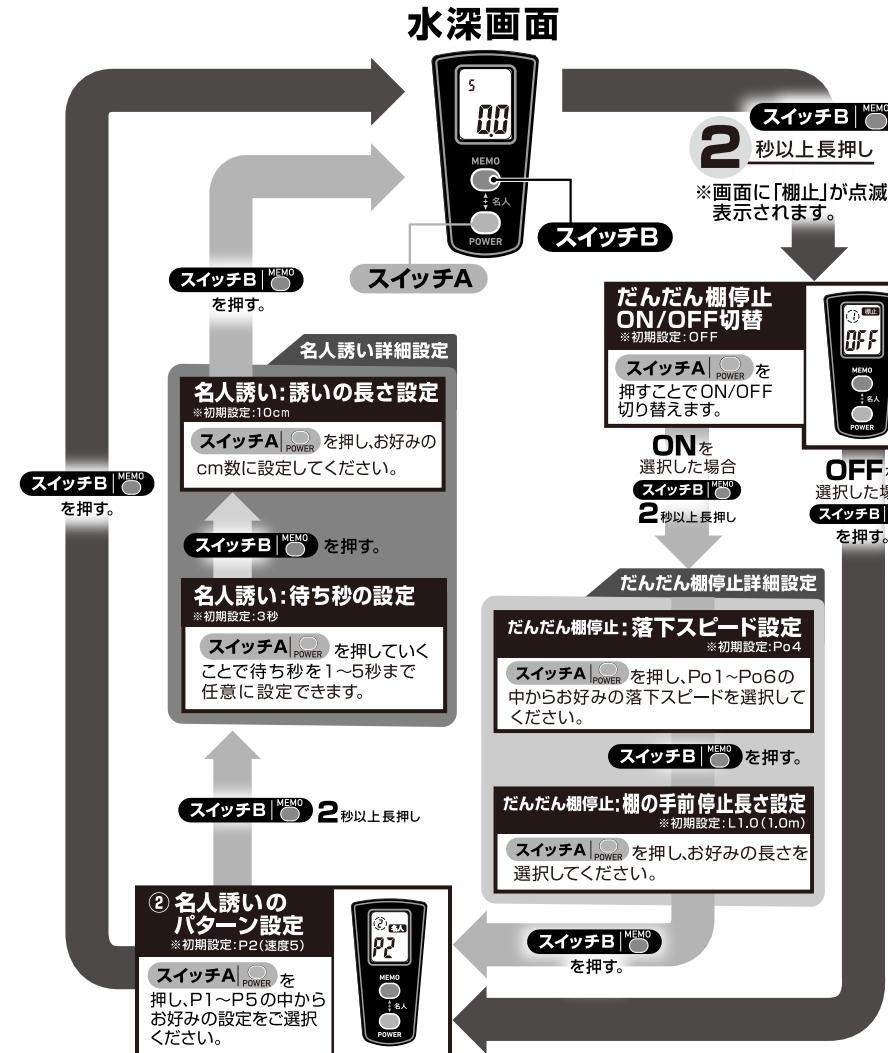
*交換しても異音やスリップする場合弊社アフターサービス部門に出されることをお勧めします。(有償)

【機能設定クイックマニュアル】ここでは、各種機能設定について、図解にて説明します。

設定動画は下記のQRコードを参照ください。▼

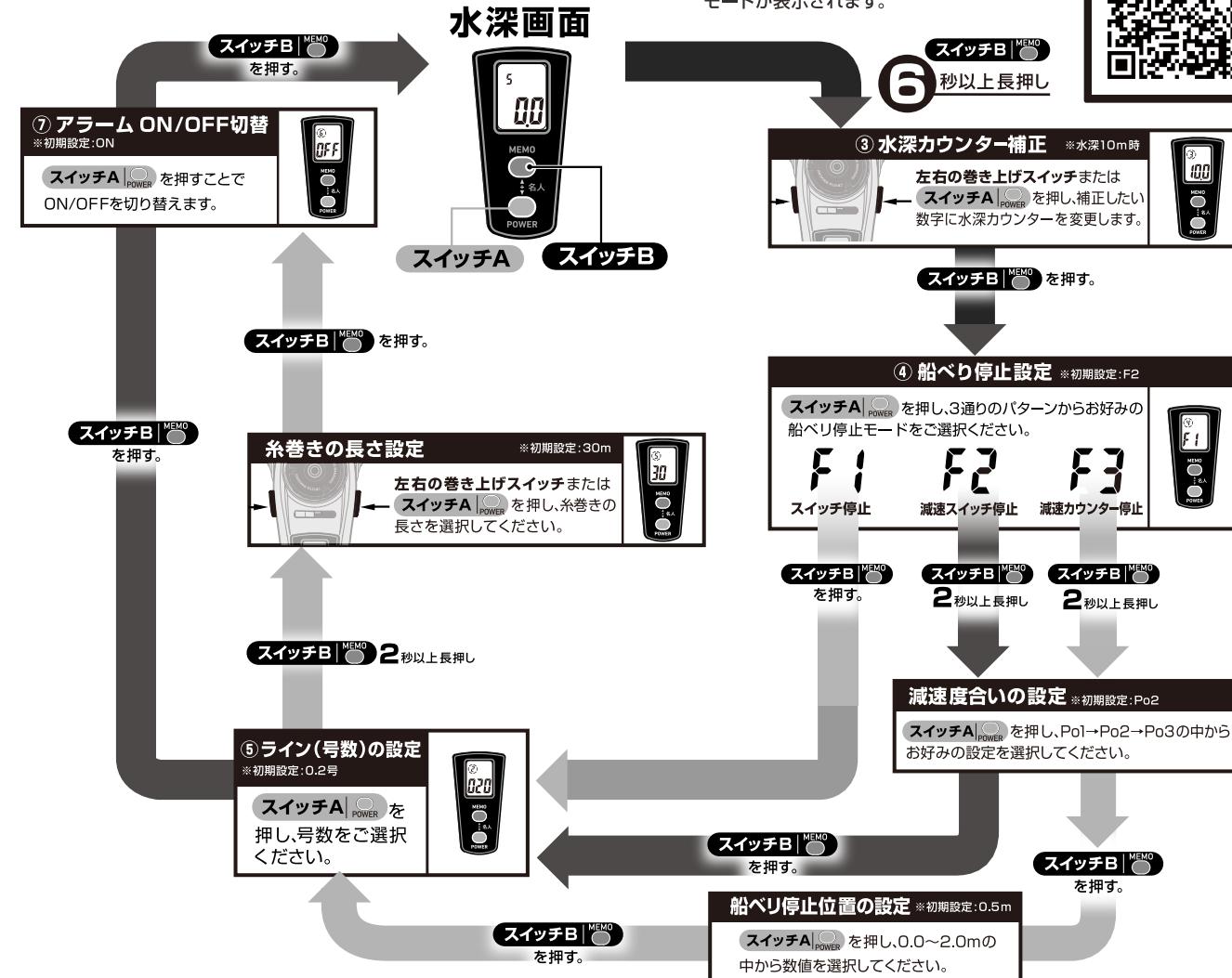
機能設定モードA

便利機能を設定するモードです。
スイッチBを2秒以上長押しすると
設定モードAに入ります。



機能設定モードB

基本機能を設定するモードです。
スイッチBを6秒以上長押しすると
設定モードBに入ります。



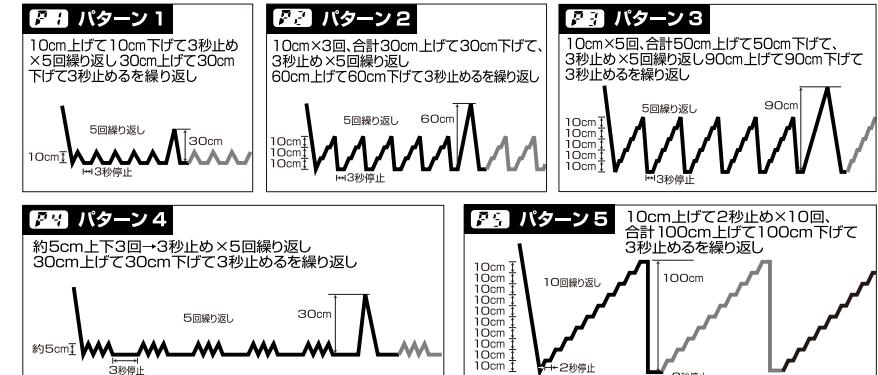
① だんだん棚停止の設定方法

オモリを棚まで落とす時、魚群を散らさないようにゆっくり落とす機能です。設定した棚の手前1mでクラッチをONにし、スプールを止め、低速で棚まで落とします。

- 水深画面からスイッチBを2秒以上押す。だんだん棚停止設定モードに入ります。
- カウンター左側に①の文字、右側に「棚止」(点滅)が表示されます。(OFFはだんだん棚停止機能オフ) *初期設定はOFFです。
- スイッチAを押して、OFFからONに選択できます。(右図はP4の「誘い長さ」5cmです。)
- ONの状態でスイッチBを2秒以上押すとだんだん棚停止の落下スピードの選択画面になります。スイッチAを押してスピードP01～P06の選択が可能です。*初期設定はP04です。*オモリの重さなどでバックラッシュする可能性がありますのでその場合スピードの調整をお願いします。*OFFの状態でスイッチBを2秒以上押すと通常の水深カウンターモードに戻ります。
- 再度スイッチBを押してからスイッチAを押すことで「棚の手前停止長さ」を選択できます。(左図は初期設定L1.0 [1.0m]の長さです。)*選択可能長さ 0.3/0.5/0.7/1.0/1.5/2.0m
- スイッチAを押すことで「棚の手前停止長さ」を選択後、スイッチBを2秒以上押すと画面は通常の水深カウンターモードに戻ります。

② もっと選べる名人誘いのパターン設定方法

①水深画面からスイッチBを2秒以上押すと機能設定モードに入ります。さらにスイッチBを1回押すとカウンター左側に②の文字、右側に現在選択されている名人誘いパターンの番号が表示されます。
②スイッチAを押すと、以下の5通りの名人誘いのパターンを数字で選べます。



名人誘いの「待ち秒」・「誘い長さ」の変更

名人誘いの停止時間「待ち秒」と誘い幅「誘い長さ」が設定できるのでさらに誘いパターンが広がります。
設定方法
名人誘い選択画面からスイッチBを2秒以上押す。スイッチAで1～5秒の1秒単位で「待ち秒」を選べます。
(右図は初期設定P2の「待ち秒」3秒が選択されている例です。)



誘い(パターン)	機能	設定パターン
P1	誘い長さ	1-5秒 (3秒)
P2	待ち秒	1-5秒 (3秒)
P3	誘い長さ	1-5秒 (3秒)
P4	誘い長さ	1-5秒 (3秒)
P5	誘い長さ	1-5秒 (3秒) *太文字は初期設定

③ 水深カウンター補正の設定方法

魚探水深 10.8m
お手持ちの魚探の水深表示とリールの水深カウンター表示を一致させることで、より簡単に精度の高い釣取りが可能です。
(例)リールの水深カウンター「10.0」を魚探の水深表示「10.8」に補正する

- 水深画面からスイッチBを6秒以上押すと水深カウンター補正画面になります。
- スイッチAまたは左右の巻き上げスイッチで補正したい数字に水深カウンターを変更します。
*補正を行なう場合や巻き上げ状態の変化で魚探の水深表示と水深カウンターがズレる場合があります。ズレが大きくなったら再度設定や数値の微調整を行ってください。

④ 選べる船べり停止の設定方法

①水深画面からスイッチBを1秒以上押すと機能設定モードBに入ります。
②さらにスイッチAを1回押すとカウンター左側に③の文字、右側に現在選択されている船べり停止番号が表示されます。(左図は初期設定のF2=減速スイッチ停止が選択されています。)

③スイッチAを押すと、以下の3通りの船べり停止から好みの方法を数字で選べます。(スイッチAを押すたびに以下の3つの画面が切り替わります。)



選べる船べり停止の詳細とご注意

*船べり停止は巻き上げスピード・負荷で前後にズレる場合があります。

F1 = スイッチ停止

丸カンと船べり停止ガイドを使用して巻き上げを停止させる方法です。表面・操作方法5のようにセットすれば、巻き上げ時に結び目がビーズを引き上げ船べり停止ガイドに当たり、船べり停止スイッチが作動してモーター回転が止まります。スピードが減速しない分、より早く回収できますが、停止した際の衝撃が大きくなり⑦以上の高速巻き上げ時は(バシリヤンブレイクなどにつながることがありますのでご注意ください)。

F2 = 減速スイッチ停止
F3 = 減速カウンター停止

F1 = スイッチ停止

巻き上げを停止させる仕組みは「スイッチ停止」と同様ですが、このモードでは停止する1m手前から巻き上げスピードが自動的に減速し、停止した際の衝撃が小さくなり、バシリを軽減する効果があります。

F2 = 減速スイッチ停止
スイッチBを2秒以上押すと減速スピードを選択する画面になります。(図は初期設定のP02です)。好みの減速スピードが表示される状態でスイッチBを2秒以上押すと水深画面に戻ります。(P01: スロー、P02: ノーマル、P03: ハード)

F3 = 減速カウンター停止
水深カウンター表示0.0m～2.0mの間で、好みの位置で巻き上げを自動的に停止させる機能です。また、設定した巻き上げ停止位置の1m手前から巻き上げスピードが減速します。
*ただし、カウンター表示がズレるなどして、自動停止するよりも先に丸カンが船べり停止スイッチに当たった場合はそこで巻き上げが停止します。

「減速速度の選択画面」
スイッチAを押してP01～P03減速スピードを選択します。(図は初期設定のP02です)。好みの減速スピードが表示される状態でスイッチBを2秒以上押すと水深画面になります。設定完了です。(P01: スロー、P02: ノーマル、P03: ハード)

スイッチAを押して、0.0m～2.0mから好みの停止位置を選びます。(図は初期設定の0.5mが選択されている例です)。好みの停止位置が表示された状態でスイッチBを2秒以上押すと水深画面に戻ります。設定完了です。

⑤ ライン(号数)設定の操作方法

①水深画面からスイッチBを6秒以上押して機能設定モードBに入ります。さらにスイッチBを2回押すとカウンター左側に⑤の文字、右側にPEラインの号数が表示されます。(左図は初期設定のPEラインの0.2号が選択されている例です)。

②スイッチAを2秒以上押してPEラインの長さをスイッチAまたは巻き上げスイッチで設定します(5~99.9mまで)。左図は初期設定の30mが選択されている例です)。

③スイッチBを2秒以上押すと水面画面に戻ります。*スイッチAは押すと、以下の負荷や巻き上げ状態の変化で魚探の水深表示と水深カウンターがズレる場合があります。ズレが大きくなったら再度設定や数値の微調整を行ってください。

*丸カンが切れた場合も同様の操作で巻き糸量の修正を行ってください。

*初期設定はPE0.2~30mです。

*ラインの太さはメーカーによって違う場合があります。

⑥ アラーム設定方法

①水深画面からスイッチBを6秒以上押すと機能設定モードBに入ります。さらにスイッチBを2回押すとカウンター左側に⑥の文字が表示され右側に文字が表示されます。0FはアラームON、0FはアラームOFFになります。

②さらにスイッチBを6秒以上押すと水深画面に戻ります。好みのモードを選んだ状態で、スイッチBを2秒以上押すと水深画面に戻ります。設定完了です。

③スイッチAを押して、ONかOFFを選んでください。(左図はOFFを選んだ場合の例です)。

④好みのモードを選んだ状態で、スイッチBを2秒以上押すと水深画面に戻ります。スイッチAを2秒以上押し、アラーム音がOFFになります。

オールリセット

①電源OFF状態からスイッチBと巻き上げボタン(左右)を同時に押しながらスイッチAを6秒以上長押し、表示がされたらボタンを離してください。

②水面画面が「888-000」までローテーション表示し、最後に「CLR」が表示されます。

③スイッチBを2秒以上長押しすると水深画面に戻ります。スイッチAを2秒以上押し、電源をOFFにすることでオールリセットされます。